

OCR-Bフォント読取りアプリケーション

・PM250で簡単にOCR-Bフォントの読取りをサポート！



PM250 2次元・抗菌モデルはOCRフォント読取り機能を搭載しており、バーコードと併用してOCR-Bフォントの読取りを行う業務で最高のパフォーマンスを発揮します。

- ・バーコード + OCR-B読取り データ収集アシストソフトを無償提供！

このソフトを使うと、面倒なOCR設定変更がバーコードで簡単にできます。

- ・別途アプリケーションソフトの構築(有償)対応も可能です。

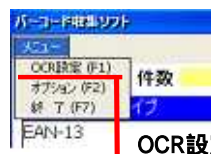
・OCR-Bフォント 利用事例

OCR-B フォント

- ・郵便番号
- ・DM管理番号
- ・公共機関印刷物
- ・書籍管理番号
- ・メディカル関連帳票
- ・コンビニ支払用紙
- ・テスト用紙
- ・JANコード下部数字表記

0123456789
- # A B C D E F G

OCR-B読取り データ収集アシストソフト



OCR設定を選択

OCR設定画面



QRコードで
OCR設定
を読取り

ソフト設定によって自動リンク

ソフトのメイン画面よりメニューを選択
OCR設定(F1)を選択する

OCR設定画面が表示されますので読みたい
OCR-Bのケタ数(英数記号)に合せたQRコード
を読取り

読みたいOCR-Bフォントの読取りを実施

108-0074

4312102

OCR読取り設定QR
郵便番号
(ハイフン有り)



OCR読取り設定QR
郵便番号
(ハイフンなし)



OCR-B読取り データ収集アシストソフト

オプション設定



ログファイルの保存先フォルダを指定します。
保存先フォルダは固定(変更不可)です。

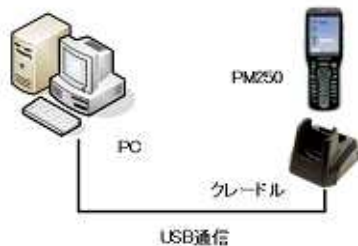
ログファイルに保存する項目を選択します。
チェック(レ点)された項目のみが、ログに保存されます。
同じバーコードを2回続けてスキャンした時に
それを有効とするか、を選択出来ます。

この項目をチェック(レ点)した場合、同一のバーコードを2回連続で
スキャンするとこのメッセージが表示され、警告を発します。



ログデータ保存

PCとの通信イメージ



LogDataフォルダを選択



Windows Mobile Device Center
(Microsoft ActiveSync)を利用して
PCと接続 (通信には専用クレードルが必要)

エクスプローラが起動されたら
LogDataフォルダを選択

LogDataフォルダ内のデータを、パソコンに
手動でコピー
(LogDataフォルダ内のデータを手動で削除)
操作方法は、一般的なエクスプローラと同じ



Windows Mobile Device Center
(Microsoft ActiveSync)を
利用してPCと接続

0123456 #	012345 #
3456789 #	234567 #
2345678 #	456789 #

OCR読取り設定QR
ゲートマーク7桁 #



OCR読取り設定QR
ゲートマーク6桁 #



Windows Mobile Device Center (Microsoft ActiveSync)はMicrosoft社の製品です。利用方法につきましてはMicrosoft社ホームページをご参照願います。
PM250とPCを接続するには専用クレードル(別売)又は専用Syncケーブル(別売)が必要です。

本仕様につきましては改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

<http://www.pravion.com/pda/>

■導入に関するお問合せ

株式会社 松東亜電機株式会社

0120-599-282

※携帯・自動通話・FAXからもご利用いただけます。

本 社 〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町9162-1

TEL: 053-428-1121 FAX: 053-428-1131

東京支店 〒108-0074 東京都港区高輪2-17-13 テイクン東京ビル9F

TEL: 03-3444-9311 FAX: 03-3444-9312

大阪営業所 〒560-0021 大阪府豊中市本町2-1-45 渡邊ビル301号

TEL: 06-6844-3061 FAX: 06-6844-3063